

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区ガバナー 江崎 柳節

ローマのピエタ【撮影 江崎 柳節】

ガバナー一月信 No.12



ロータリーは
分かちあいの心

2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ

ガバナーメッセージ.....	2	記念事業報告.....	8
ロータリー親睦活動月間に寄せて.....	4	第2回地区国際奉仕委員長会議.....	11
2008-2009年度のための地区協議会報告.....	5	ガバナーからのお知らせ.....	12
2008-2009年度会員増強セミナー報告.....	6	インターネット速報・文庫通信.....	14
第18回ローターアクト地区年次大会報告.....	7	会員出席率報告.....	15

6月

2008年6月1日発行

One Difference 違いをもたらそう

2007~2008年度
国際ロータリー第2760地区のテーマ



Governor Message

一年を

クラブ会長各位

クラブ幹事各位

一年という単位は前回申し上げましたとおり私に取りましてもあつという間の事でございました。ガバナーという職掌は就任する2年前にはご指名を受けておりましたから2年間の準備期間がありました。現在ではガバナー予定者は就任3年前からガバナー・ミニのミニとして指名を受ける事に変更されておりますから覚悟や準備は個人的にはできることですが、特に輩出クラブが行うべき準備等は、クラブの運営との兼ね合いで容易なことではないと思われま

す。当該年度の地区財政の安全性、地区活動資金の安全性には先走った心配があるものです。当該年度の事より、ガバナーエレクト年度の間に準備しなければならない事の方がはるかに重要で火急の事態であります。たとえば地区協議会のホストクラブの決定とそのクラブでのご準備、次年度のための地区委員会研修（地区チーム研修）、会長エレクトの研修会議（PETS）の2会議のガバナークラブでの準備、地区大会のホストクラブ決定とご準備、ガバナー主催セミナー（地区指導者育成セミナー、地区増強セミナー、財団セミナー、RYLAセミナー）の地区研修リーダー（今年は尊敬する豊島PDG）、地区委員会との調整準備など息を抜く隙間がありません。各分区から来て頂きました飛びつき優秀な8人のガバナー補佐の皆様との研修会議も極めて重要でありました。こう書いて参りましてもこれらは本当は、ガバナーの責務のほんの一部でしかないのです。これらを助けてくれたのは我が所属クラブの過半数にのぼる地区スタッフ及びガバナースタッフの皆さんです。手前の事で恐縮ですが今年度は小牧RCは創立40周年に当たっています。残る半分20名のクラブ員で素晴らしい事業をしてくださいました。中でも“人道に関する国際会議”はおそらく81クラブ中出色の出来ではなかったでしょうか。目頭が熱くなる想いで祝辞を申し上げました。

しかしこの前述のいかにも困難な、地区の事業をばたばたと片付け推進して行くスーパーヒーローがロータリーには揃っていません。ロータリーとは斯くあるべきものなのか。ロータリー・マジックの一端を感動をもって経験させて頂きました。地区指導者、地区委員会並びに事業の指名を受けられたクラブの“実践と友情”は忘れることができません。まさに“ロータリーは感動だ。感動を与えることができるものがリーダーだ”というサンディエゴで得た悟りは当たっておりま

す。公式訪問も楽しい事業でございました。朝10:30には会場にお邪魔できるように出発致しましたが他地区と異なり全県一区の上に高速道が素晴らしく発達している当地区では、東名集中工事期間以外は順調に到達できました。最も困難を極めたのは奥三河RC訪問後に一般道を疾走して3:30に予定されている名古屋名東RC30周年祝賀例会に参上致したときで、到着致したときにはすでに県知事、名古屋市長はじめご来賓が壇上に参列されるところでございました。河村地区幹事のご厚意で“ガバナー車”を提供頂いたことがどれほどありがたいことであったか、車内でパソコンが使え携帯でじゃんじゃん連絡がとれ、帰りはフルリクライニングで二人揃って高野の日も少なからずございました。公式訪問が一通り終わったときの走行距離は1万3千キロを刻んでおりました。

例会にさきかけて1時間半は会長幹事さん、次期会長次期幹事さんとの懇談をさせて頂きましたが、どうせならクラブ協議会形式の方が良かったかなと反省致しておりますが、全てのクラブでガバナー補佐事前訪問時にクラブ協議会を行って戴いておりますので、全員協議会でなくて良かったかも知れませんが、やはり皆様と語り合いたかったという反省は残ります。この懇談においてCLPのこと、奉仕プロジェクトのこと、クラブの問題や増強の悩みなど様々お聴かせ頂き勉強させて頂きましたことと例外なきクラブ会長の素晴らしいモチベーションに驚きと畏敬の念を禁じ得ない勉強の日々でした。

クラブによって様々でしたが、社会奉仕、国際奉仕における奉仕プロジェクトの取り組みにはマンネリを脱却した実践の汗が感じられたクラブが可成りの数に上りました。具体的にはWCS（世界社会奉仕／国際奉仕）のクラブのご理解、世界のクラブ地域のニーズを探って国際間のクラブ連携・援助も理解も進んできました。地域にご一任頂いたWCS資金も地区ぐるみで学校建設・識字率改善をタイ、ラオス国に対して2760地区として貢献されました。RCC（ロータリー地域社会共同隊／社会奉仕）の意義を良く理解した地域社会のニーズに応えようとする諸試みもロータリーのトレンドなのであります。これらはロータリーの核心である奉仕プロジェクトをクラブ自体がどう理解し重要性、やり甲斐を気づく（Awareness）かが、その後の大きなクラブ間の格差になって行くことであろうと感じております。ロータリーが国の内外を問わず、社会に連帯とリードを進んで求めることのプログラムがWCSであり、RCCであり、新世代奉仕におけるRYLA（ロータリー青少年指導者育成プログラム）なのです。これらは地区としても等閑視してはいけないロータリーの進むべき道だと思います。年度末に行われた各分区のIMでは

顧み て

国際ロータリー2760地区ガバナー 江崎柳節

競うようにこれらの分野のクラブ実績が発表され、IMにおいてクラブを超えたクラブの理解と親睦と連帯が図られている事を目の当たりに致しました。

地区大会も史上空前の3000人を超える登録を戴きました。お隣の江南RCがホストを受けて頂き、小牧パークアリーナという私共の小牧市で開催して下さいました。何という友情でしょう。東尾張分区全11クラブが全員登録で応えて下さいました。総計14クラブの全員登録を戴きました。私たち小牧RC40周年に忘れがたい大会となりました。

日本中のロータリアンが心配した職業奉仕も4大奉仕として今年度の規定審議会でRIクラブ定款に明記されることになりました。他の国は兎も角これは日本ロータリーの精神の根幹であることには変わりありません。今年度の国際協議会では我が国の渡邊RI理事が直接“職業奉仕は4大奉仕の巨大な根幹だ”と位置づけられました。

我が国は特に奉仕プロジェクト、従って社会奉仕、国際奉仕のプログラム、奉仕展開が下手であったことはあると思います。ロータリーが思想団体ではなく、確かな理念を伴った実践哲学を推進して行く集団であることから、もう一度再確認することが求められているのであります。ロータリーは思想団体ではないということです。

増強はクラブがその気になればさほど難しい事ではありません。が会員維持ができるか否かはクラブ内のアイデンティティーなのだと思います。ロータリーがまぎれもない会員の矜持すべき人生哲学であるという23-34に示された了承事項であるからには、ロータリーをもう少し科学的に分析理解することがのぞまれることではないかと思えます。クラブ奉仕の中に各層の会員が素直に学べるUp To Data（今日的）な情報と教材の提供が常に行えるようなシステムになっていないことがいつまでも“耳学問”で語り継ぐ“私の理解するロータリー”の域をでないところにとどまる危険を考えずにはいられません。

CLPも素晴らしいクラブ活性手段です。不幸にしてRIからはわかりやすいガイドラインが出ておりません。出来たら今期私がガバナーズレターに再三書かせて頂きましたものが現時点では一番かと評価を受けております。次年度の会長さんはご一読賜ればガバナーの責務が少しは報われます。

クラブ内に於いても、耳学問でないロータリーの真の今日的理念の研修が求められています。ITを読めないのは日本だけだという事態になりつつあります。07年度の頭書から施行されている手続き要覧が年度末近い4月に配布されました。日本語訳に手間取ったのでしょう。CLPをわかりやすく説いた解説書も、ガイドラインもありません。世界でCLPが受け入れられているクラブの割合は75%にのぼります。残りの大部分は我が国ではないでしょうか。私の努力不足もありました。地区研修委員会と、地区ロータリー情報委員会にCLPのクラブのためのケアを御願ひしてご苦勞をお掛けしました。お陰様で地区内でも70%以上のクラブがCLPの了解をされるようになりました。明らかにCLPはクラブをより活性化し奉仕の質を高める者であることは世界中が実証し始めています。よく“彼はロータリー屋だ”と云われて多少特別視する傾向が見受けられますが、これはそこまでロータリーに集中できない人の言い逃れであるように思えます。先輩が独善的にクラブを支配している雰囲気は多くの場合年齢層間の人生観の違いを理解する勇気と寛容が問題になります。クラブ奉仕の現在の問題点は各層への情報の提供機能だと思っております。燃えるが如き地区指導者、委員会のロータリーの情熱はクラブ委員長さんがきっちりとクラブへ帰ってそのことをお話してあげて頂きたいと思えます。今は討論したり、学んだりした者がそれをクラブへ伝達する機能が一番欠如しています。多くのクラブが確かに地区から孤立しています。そしてクラブからもぜひ近未来のロータリーリーダーを地区に送り出して下さい。どれだけクラブが活性化するかこれはクラブ間格差の解消のシークレットです。

今年度は“100萬弗の例会食”という我が儘を御願ひしました。お陰様で49回の公式訪問時だけで600萬円余の寄進を財団と米山にして頂く事ができました。会員増強も地区を上げてご協力頂きました。願わくば純減がなかった数少ない地区の一つになっていることを。

ロータリー財団、米山記念奨学会も4大奉仕に負けず大事業を推進しておられます。委員会で81クラブ全部に卓話に出かけて頂いております。他の地区へ地区大会などでお邪魔致しますと当地区の4大奉仕を含む財団、米山、新世代奉仕の活躍は34地区中有数の成果を上げております。全県一区で5200人も会員を擁し年間出席率はダントツで、次年度はロータリー平和フェローも推薦の見通しが立っています。他地区と異なり誠に有り難いことに10萬部の発行を誇る“中部経済新聞”を機関誌のように使わせていただき他団体に対し圧倒的な情報と理念の共有が出来、年度後半には地区ロータリアンの卓見を大勢の指導者にご投稿頂き、世にロータリーの意義を問うことができたと思えます。今年度の地区運営方針は“違いをもたらそう”、RIテーマ“ロータリーは分かちあいの心”のもとにロータリーならばこそできる“思っても見ない大きな成果”を積み上げ、これはロータリーマジックとしてわれわれの人生に限りない夢と勇気を与えてくれるものと気付かせて頂いたような気が致します。みなさまの今後のご健勝とご多幸をお祈り致しております。有り難うございました。

ロータリー親睦活動月間に寄せて



純粋親睦の意義

2007～2008年度ガバナー事務所事務長 増井洋生

ロータリークラブの奉仕活動は国際ロータリーの規定と規約に基づき多様な活動指針が提示されているのは、ロータリークラブそのものが、奉仕の理念を掲げ、その理念に賛同したクラブ会員によって結成されている奉仕団体としての当然の理念です。

クラブ会員の義務として最も重んじられる事柄のひとつが、例会出席であります。可能な限り、100%の例会出席が強く奨励されています。義務として重んじられる例会出席のなかに、例会場での会員同士のコミュニケーションの手段として、親睦活動が重要視されます。この重要視される親睦活動の表現にはクラブによって多種多様で、会員個人によってもその表現と思考も多様です。即ち、親睦活動に関する国際ロータリーの規定や規約は無く、あくまでクラブ内活動の一環としての必然性から求められる委員会です。何故、必然性が生じるかは、例会出席を重んじ、かつ、会員増強・退会防止の必要性が強求められるからであります。例会出席を義務とし、皆出席を誉れとするのは、その会員の努力に敬意を払うと同時に他の会員に対する親睦義務への賞賛であります。他の会員への親睦義務とは、例会場における、純粋親睦への責務を指します。

まず、新しい会員は、入会当初、周りの先輩会員への敬意と緊張感で昼食を味わう余裕など感じられないのが現実でしょう。その経過のなかで、先輩会員から多種多様な知識やマナーを習得し、自らのレベルアップに勤しみ、ロータリークラブへの入会ができた喜びと期待に感謝します。期待と喜びのほとんどは、純粋親睦を指していることは事実でしょう。純粋親睦とは、会員相互の、職業上の専門知識、企業上の経営視点、役職上の管理観念、地域文化に対する知識、社会的道徳観念や順法精神の向上、家族構成の在り方や意義、個人的趣味の存在意義、など等の忌憚のない意見交換のなかで自らの知識や倫理観向上に励み、そこで得た知識や理論を、自らの企業運営に生かすことに価値が生じます。新入会員はこの、先輩会員から「自らの企業運営に生かす価値」を得ることと、未知なる分野の知識や理論に接し、より人間力を高めることに大きな期待をし、価値観を抱き、例会に出席することをロータリアンになった価値と誇りとして捉えています。そして職業上の自らの企業の専門性と技術力、運営視点を忌憚無く先輩や会員に語り、先輩達や会員の忌憚のない評価と指導の言葉のなかから、自らの企業運営や倫理観等を向上させる糧を見出し、生かすことに純粋親睦の大きな意義が存在します。純粋親睦が活発に稼働する限り、新入会員の早期退会の防止や、会員増強につながる理論となります。

純粋親睦に価値観を求めて例会出席する会員の方々に対し、欠席の多い会員の姿勢はなじみません。歴史のなかで、この事実を良く承知している国際ロータリーは例会出席を重く捉え、会費納入に表彰はないが、100%例会出席者の表彰を奨励しています。会員間による、職業上の専門知識等の詳細な意見交換により、クラブとして新たな奉仕事業の開発が可能となることは事実として捉えるべきことです。会員同士、自らの職業の専門性を大いに語り合うことも重要な純粋親睦の在り方です。クラブには、純粋親睦のなかで、相手を熟知することにより、より親密度がたかまり、知人から友人へ、友人から親友へと、自らの人生の大切な心の糧となり得る会員が沢山みえます、それが例会出席であり、例会場の重要な価値です。

純粋親睦の在り方と、理念を承知しているクラブは、組織としての団結力をより強固なものとし、発展の可能性を大いに秘め、スムーズな組織運営を可能とします。このような純粋親睦の在り方の理念のなかで、新入会の勧誘の姿勢が定まり、「入会の懇願」の姿勢から、堂々と、ロータリーの誇りと奉仕の精神を示し、入会の選考権のもとで「選考された会員」の増強がかなう道理です。会員減少の現実に困惑したときは、数値を現実のものと容認し、焦らず勇気をもって純粋親睦に勤めれば、より退会を防止し、必ず「選考された会員増強」に繋がります。

この純粋親睦の延長上にあり、支え補うのが、クラブ親睦委員会の親睦活動であり、親睦・家族旅行であり、親睦ゴルフや各同好会の活動であります。親睦委員会や委員長は大変複雑な思考回路が求められる職責だと推察できます。懇親会を兼ねた親睦委員会活動は、会員それぞれ十人十色の趣味、趣向がある訳ですから、集約力と決断力が問われることは事実でしょう。集約と決断は委員会や委員長の判断でできますが、その後のフォローのために、思考回路をフル回転させる必要が生じる、気苦労の多い事業委員会です。純粋親睦は、クラブ会員全体の重要な認識の在り方であり、懇親親睦はクラブ親睦委員会の企画力が楽しみであり、会員相互の融和のための必然性が求められる委員会です。

純粋親睦、懇親親睦ともに、親睦活動であり、ロータリークラブ運営のための必要不可欠な滋養強壮剤です。

2008-09年度のための地区協議会報告

開催日	2008年4月13日(日)
会場	ウェスティンナゴヤキャッスル
ホストクラブ	一宮ロータリークラブ

地区協議会実行委員長 酒井 孝



RI第2760地区2008-2009年度のための地区協議会が4月13日、新緑が映える名古屋城を望むウェスティンナゴヤキャッスルで参加81クラブ、登録1,808名で盛大に開催されました。

定刻10時30分、ホストクラブ猪子誠児君の司会、片山主水ガバナーエレクトが出席・親睦・奉仕の三つの意を込めて3点鐘で始まりました。

江崎柳節ガバナーは地区協議会への努力に応じて参加者の心構えを岡本かの子の詩に託し「さくら花命一杯咲くからに命をかけて我が眺めおり」そして分科会に臨んでは高浜虚子の短歌「春風や闘志抱いて丘に起つ」と

格調高い挨拶がありました。

片山ガバナーエレクトは講話で次年度会長幹事は各クラブ、マンネリに陥らず、思考が停止していないかを念頭において次の7つの項目を参考にして計画を立案してくださいとの要望がありました。

- ① 各クラブで重要問題を討議する場を作る
- ② クラブの組織・管理・運営の整備
- ③ 奉仕活動のプロジェクトが効果的に行われているか
- ④ 財団・米山等の寄付の協力
- ⑤ 会員の維持、増強が充分なされているか
- ⑥ 新旧会員に対する研修・親睦がなされているか
- ⑦ 公共イメージに向上のための努力、実行

次いでRI会長のテーマ「夢をかたちに」の説明の中で夢がDreams と複数であること、特に強調事項として「子どもたちのために」水保全 保健・飢餓 識字率向上 を今年も継続する旨の話がありました。

地区方針 持続可能な前進!! 組織運営で・奉仕活動で・会員増強で……

曲り角にきているといわれている日本のロータリーの永遠の継続のために、ゆっくり、着実に、すべての点で時の環境に適応・調和した前進を図ることが重要である。

重点事項

- ◎ ロータリーの綱領の再確認
- ◎ 地区 分区 クラブの管理運営機構の整備
- ◎ 調和の奉仕 超我的奉仕（社会奉仕） 彼我的奉仕（職業奉仕） 唯我的奉仕（クラブ奉仕での自己研鑽）の3奉仕の調和
- ◎ 人的物的資源の維持強化 会員増強・財団・米山への寄付協力

等、時を超え熱く語られました。

午後の部の分科会では9部門に分かれて各リーダーの指導のもと熱の入った研修が行われました。

そして午後の本会議では江崎ガバナーが講評に代えて、今年度の所信を披露されました。この地区は会員数約5,200人と日本で一番、出席率も日本一、常に誇りを持った1年であった。

100万ドル例会では財団・米山へ600万円の寄付が出来、WCSではラオスに3番目の小学校を寄付しました。地区81クラブの活動もそれぞれの地域のニーズに合ったもの、RCCで他の団体との協調もみられ、新世代を含め、内容のあるものであった。

唯一つ会員数の減少、特に日本は減少率が30%と世界で群を抜いて高い事を問題点として指摘されました。

その後、ガバナー、地区幹事の引継、次年度地区大会案内、次年度地区協議会ホストクラブ挨拶で終了致しました。

今回、ホストするにあたり関係各位のご支援、ご指導に心から御礼申し上げます。



2008-09年度 会員増強セミナー報告

開催日	2008年4月18日(金)
会場	名鉄グランドホテル 柏の間

次期地区副幹事 山本 誠一



片山主水ガバナーエレクトのもと、地区内81クラブの次期会長・幹事・会員増強委員長を対象に「2008-09年度会員増強セミナー」が当地区で初めて開催された。

このセミナーには、江崎柳節ガバナー、片山主水ガバナーエレクト、山内登次期会員増強リーダー、伊藤秀雄次期地区会員増強委員長をはじめ、230人余の会員が出席した。

セミナーは、宮崎次期地区幹事より趣旨説明と、来期より会員増強リーダーを新設する旨の説明があり開会した。

はじめに江崎ガバナーより、「会員増強セミナーを開催することは意義のあること。ロータリーを維持・発展させるには会員増強は欠かせない。一方で、入会した人にはクラブに定着してもらい、退会を防ぐことがさらに大切です。」と強調された。

また、片山ガバナーエレクトは、「次年度の地区方針に『持続可能な前進』を提唱させていただき、重点事項の中で『人的物的資源の維持強化』を掲げているが、これを可能にするためにも会員増強を強力に推進していただきたい。当地区の会員数は10年前に比べ2割減少しており、これを10年かけて戻したいとも思っている。R.I.から次年度の目標として10%の増強要請を受けているが、当地区としてはクラブの実情によって5%から10%の増強をお願いしたい。」と会員増強について話があった。

続いて私から、各クラブの次年度会員増強目標の集計と、地区のクラブ数と会員数の推移を発表した。次年度の純増目標は81クラブで316人(6%増)になった。又、会員数のピークは98-99年度の76クラブ6,282人で、直近の06-07年度は5,149人と、ピーク時に比べて1,133人減少している状況を報告した。

この後、山内次期会員増強リーダーが、少数会員クラブに焦点を当てた内容で講話があった。「会員の少ないクラブでは苦しい運営を余儀なくされてしまうが、会員増強には“増”と“強”があり、少人数でも『理想の奉仕』を理解する同志だけでクラブを続け、こうした中で同志を一人でも二人でも増やし、クラブの強化に努めていきたい。」と、所属する尾西R.C.の実例をあげ、話をされた。

続いて、伊藤次期地区会員増強委員長が講話した。クラブ会長として会員増強に成果をあげた実例を交え、「会員増強は一人でいくら力んでも無理があり、クラブ全員が会員増強委員の意識をもって取り組むことが大切であり、そのためには会長の強力なリーダーシップが必要です。」と強調された。

この後、権威ある模擬入会式を行い、各クラブ共参考になったと思います。

この後、安藤次期担当ガバナー補佐より、「セミナーの成果をクラブ運営に反映させ、新会員を増やし、『持続可能な前進』を目指していただきたい。」と講評があり、佐久間次期地区筆頭副幹事の閉会の辞でセミナーを終えた。



第18回ローターアクト地区年次大会報告

地区ローターアクト委員長 坪井和義

第18回ローターアクト地区年次大会が、5月15日(土)～16日(日)にかけて、江崎ガバナー、因田名古屋副市長、そして遠く青森のほか全国から多くのアクターが出席して、名古屋名城ローターアクトクラブ(以下RAC)のホストにより、名古屋ガーデンパレスホテルで開催されました。

地区年次大会は、地区アクターが一同に会し、この一年間の各RACの活動状況を発表し、情報交換するとともに、その機会を通じて友情を深め、また次期地区代表の選出と地区ホストを決定し、そして卒業生(30歳で卒業)を送り出すという、アクト活動の中で最も重要な行事の一つです。

この年次大会を企画された実行委員会の皆様のご苦勞に、心より感謝申し上げます。また、ご協力いただきました2760地区RAC提唱ロータリークラブの会員の皆様、そして名古屋名城RACを提唱していただいています名古屋北、名古屋東、名古屋守山、名古屋和合、名古屋名東、名古屋名北、名古屋千種、名古屋昭和、名古屋錦、名古屋葵、そして今年度主管クラブである名古屋東山の各ロータリークラブの皆様には本大会へ多大なるご支援を頂き、心から感謝申し上げます。

5月10日(土)は前夜祭で、親睦を深める事を目的として、各RACが趣向を凝らしたアトラクションがあり、2630地区(岐阜・三重)2600地区(長野)そしてロータリアンも巻き込んでの楽しいひと時でした。本大会の11日(日)は因田名古屋市副市長、江崎柳節ガバナー、加藤康治地区新世代委員長にご挨拶を頂き、その後、地区内9つのRACのこの一年間の活動が報告されました。

特に、豊田広域RACが去年6月末に設立され、初めての参加になりますが、「き」(「起」動、「期」待、歓「喜」、豊田ローターアクトの大きな「樹」をみんなで育てましょう!)をテーマにこの一年活動した報告があり、まさに大きな「樹」に育ってきているものと確信をし、大変嬉しく思いました。提唱いただいた豊田・豊田西・豊田東・豊田三好・豊田中の各ロータリークラブの皆様には「産み」そして大きく「育てる」というご苦勞に、深く感謝致しております。

この二月に仙台で開催された全国研修会で、2010年の「全国ローターアクト研修会」を当地区がホストする事が決定されました。この地区年次大会を通じてアクターが心を一にして活動する機会になれば・・・と、思っています。





岡崎東
ロータリークラブ

創立35周年記念式典

会長 神谷 武之

日時／平成20年4月17日（木）午後5時

場所／竜美丘会館大ホール

岡崎東ロータリークラブ創立35周年記念式典は、例会場でもある竜美丘会館の大ホールにおいて開催いたしました。当日はあいにく雨に見舞われましたが、式典会場の横を流れる乙川堤に連なる葵桜の新緑が雨に美しさを一層きわだたせてくれたことが救いでした。

その雨の中、江崎柳節RI2760地区ガバナー、河村嘉男地区幹事、杉浦壽康ガバナー補佐、柴田紘一岡崎市長はじめ遠来より姉妹クラブの松本東ロータリークラブの方々そして多くの招待者のご出席をいただき、神谷武之会長の点鐘により式典が開会されました。

当クラブは35年前の昭和48年4月、岡崎ロータリークラブをスポンサークラブとしてチャーターメンバー26名でスタートし常に環境に取り組むクラブとして実績を重ね、節目々々には特に環境に配慮した記念事業を実施して参りました。今回も岡崎市河合中学校には、岡崎ゲンジボタル保護育成活動の一環として「ホテル小屋換気システム一式」を、そして水質検査活動を助成している岡崎市形埜小学校には「ふれあいの森展望台」を寄贈いたしました。そのほかの記念事業としてロータリー財団及び米山記念奨学会に寄付、光ヶ丘女子高等学校にインターアクトクラブ助成金と徽章100個、社会福祉法人米山寮に放送設備一式を寄贈いたしました。このあと、柴田市長、江崎ガバナーそして三村昭平RI2600地区パストガバナー各位よりご祝辞を頂戴し前段の式典を終了しました。

祝宴の前のひととき、原田純余さん、伊東かおりさん、中尾恵子さんによるモーツァルト作曲「ピアノ三重奏曲第5番」が演奏されピアノ・ヴァイオリン・チェロが奏でるハーモニーは、式典の緊張を解きほぐすのに大いに貢献したことでしょう。

いよいよ祝宴です。足立汎和実行委員長の開会挨拶のあと杉浦壽康西三河中分区ガバナー補佐、正村 至松本東ロータリークラブ会長にご祝辞を頂き、河村嘉男地区幹事の乾杯により楽しい宴が始まりました。和やかなひと時を過ごしたあとスポンサークラブ代表の蜂須賀利雄岡崎ロータリークラブ会長の万歳三唱に続き、ロータリーソング「手に手つないで」を斉唱し成田敏圀実行委員の閉会宣言をもって終宴しました。



創立50周年記念式典及び記念事業報告

幹事 山崎 秀夫



西尾RCは、昭和33年（1958年）5月6日、蒲郡ロータリークラブをスポンサークラブとして34名の有志をもって誕生しました。去る5月11日（日）に西尾文化会館において、創立50周年記念式典が盛大に挙行されました。当日は、江崎柳節第2760地区ガバナー、河村嘉男地区幹事、金子利夫ガバナー補佐、杉浦知博ガバナー補佐幹事をはじめ、西三河分区の各ロータリークラブ会長・幹事さらに、中村晃毅西尾市長、渡辺賢一教育長を来賓としてお迎えし、会員も夫人を同伴しての式典となりました。田中会長のあいさつにつづいて齋藤肇

創立50周年記念実行委員長があいさつ。記念事業として①西尾市立図書館青春文庫に書籍目録贈呈 ②寺小屋教育学資目録贈呈 ③創立50周年記念特別奨学金目録贈呈の発表があった。中村市長から同クラブへ感謝状の贈呈、RI会長名の創立50周年記念認証状が江崎ガバナーから田中会長へ授与される。

続いて、田中会長が同クラブ功労者として、杉浦義夫さんと伊藤信吾さんを表彰し、過去5年間の会長として齋藤肇さん、杉浦澄雄さん、三浦康彦さん、原田保男さん、田中正規さんの五人に感謝状を贈る。来賓を代表して中村市長と江崎ガバナーが祝辞を述べた。

第二部の記念講演の講師は元NHKアメリカ総局長でワシントンレポートで著名な日高義樹さん。現在は、ハーバード大学タウプマン・センター諮問委員、ハドソン研究所首席研究員として、ホワイトハウス及び日米関係の将来性に関する調査・研究を続けている。全米商工会議所会長顧問も務めている日高先生が『これから石油価格はどうなる？世界資源戦争が始まった』をテーマに、原油高騰のシナリオの裏に潜む資源戦争について熱く語った。

第三部は、場所を大ホールに移し、『夢と幻想のバラエティーコンサート』は西尾市出身の田中瑞穂さんが音楽総監督・演出を担当するコンサートで、子供から高齢者までの三世代が楽しめるバラエティー豊かなプログラムとなっており、満員の観衆は大いに楽しんだ。





大府 ロータリークラブ

創立5周年記念例会

幹事 木村 正 嗣



2003年4月10日当クラブは例会場である大府商工会議所で、東知多ロータリークラブをスポンサーとして創立総会を開催し、2760地区80番目のクラブとして誕生いたしました。チャーターメンバー28名、現メンバー24名のこじんまりとしたクラブですが創立5周年を迎えるにあたり

10周年への基礎作りとし、華美にならず創立の心を忘れない為に例会場である大府商工会議所にて、記念例会を開催いたしました。記念例会には清水幸一ガバナー補佐、伊奈一郎ガバナー補佐幹事、岡戸麻一特別代表、久野孝保大府市長、遠藤司郎大府商工会議所会頭、スポンサークラブである東知多クラブの会長幹事等、多数のご来賓をお迎えすることが出来ました。

記念事業として次のような事業を行いました。

- 1、創立時より継続しています、フィリピン、バレンズエラRCとの協力事業である、同地区への水の浄化活動への援助として井戸の掘削
 - 2、大府市社会福祉協議会への20万円の寄付及び心身障害者父母の会への後援、
 - 3、日頃、例会場としてお世話になっております、大府市商工会議所へのAED（収納ケース付き）の寄贈
- 記念例会では清水ガバナー補佐より、創立間もない少人数のクラブながら、WCS活動の実行、青少年交換留学生の派遣受け入れ、少年野球大会の後援、身体障害者団体との交流、心身障害者父母の会への後援等、地域に密着した様々な活動とクラブのまとまりの良さをお褒めいただきました。また、大府市長久野孝保様、ならびに大府商工会議所会頭遠藤司郎様からは感謝状を頂き、最後に87才になられる岡戸特別代表からは10周年にもぜひ参加したいとの力強いお言葉を頂き例会を終了いたしました。

また、例会終了後、隣の市役所6階に会場を移しご来賓の方々に会員夫人を加えて懇親会を開催いたしました。和太鼓とシンセサイザーのにぎやかな演奏の中メンバーと会員婦人の拍手でご来賓をお迎えし、加藤知成拡大実行委員長のご挨拶の後、内田東知多クラブの乾杯のご発生で懇親会が始まりました。三味線、胡弓、ヴォーカル、ピアノ等の演奏の中、和やかに懇親会が進行しましたがその中でもチャーターナイト前後のとても繁忙ではあるが充実していた日々の思い出が話題の中心となりました。メンバー、夫人ともその当時に思い返し、10周年へと向かって、心を新たにすることの出来た懇親会となりました。

今後、この思いを胸に、先輩諸氏、物故会員に方々に感謝し10周年に向けメンバーの拡大を図りまた、地域社会へのよりいっそうの奉仕活動に努力をしております。



第2回地区国際奉仕委員長会議

国際奉仕委員会

委員長 鈴木吉男

4月23日（水）、名鉄グランドホテルにて第2回地区国際奉仕委員長会議を開催しました。その10日前には地区協が行われ、新しい役員の下、次年度の事業計画の作業に入っている時期に当たりますので、ほとんどのクラブにおいてすでにプログラムが終了していると思われます。

国際奉仕の基幹である世界社会奉仕委員会の事業として、ガバナーに同行していただき、2008年1月21日から26日まで、ラオスのナタック村を訪問いたしました。ラオスでは3校目の小学校の引渡し式も無事に済み、参加されたロータリアンは、子供たちの嬉しそうな笑顔に大変感動していました。ラオスに行かれていない皆様は、ぜひ来年参加して、この素晴らしさを実感していただきたいと思います。



青少年交換委員会は、地区内のロータリアンの減少により、学生のスポンサーを受けていただけないクラブが多くなってきています。その上、セクシャルハラスメント&アミューズの問題がますますプログラムを難しくしているのが現状です。しかし、長い歴史があり、子ども達が親善大使として世界を正しく理解し、互いの国々の友情を深めることのできる、すばらしいプログラムです。ロータリアンの皆様の世界平和に対する理解をお願いしたいと思っています。

両委員会とも1年で完結するものではありません。継続が大変重要であり、次年度の各クラブ国際奉仕委員長の皆様に、引継ぎ等していただくようお願いいたします。

また、第2回地区委員長会議では、第2部として斎藤直美パストガバナーの同期である北海道の第2500地区の小野哲パストガバナーをお迎えして、講演をしていただきました。他地区の考え方や現状を理解することはロータリアンにとって大変重要と考えています。



【第2500地区パストガバナー 小野 哲氏】

1978年、北海道東部第2500地区紋別港RC入会。

(株)北海民友新聞社会長。

2006～2007年度第2500地区ガバナー。

小野パストガバナーは、シェルドンの“*He Profits Most Who Serves Best*”というロータリーの心を深く追求し、自らの行動を通して、ロータリー活動とは何かを本音で語り、出席者は皆大きな感銘を受けました。

※詳しい内容につきましては、カセットテープに録音しましたので、ホストクラブ（津島RC）までお問い合わせください。



名古屋丸の内
ロータリークラブ

クラブ名称の変更について

(旧) 名古屋西南ロータリークラブ会長 渡 邊 徹 雄

第2760地区の会員の皆様には日頃何かとお世話になり心より感謝申し上げます。

過日、RI理事会に申請いたしましたクラブ名称及び所在地域の変更につきまして、2008年3月18日に承認されましたので、第2760地区の会員の皆様にご報告申し上げます。

この度、新名称を『名古屋丸の内ロータリークラブ』とさせていただきます、所在地域を「名古屋市内」として2008-09年度スタートに歩調を合わせるため、現在クラブ内の準備を整えているところです。

(旧) 名古屋西南ロータリークラブは『名古屋みなのロータリークラブ』を親クラブとして、1995年3月に誕生し、おかげさまで今年で13年目を迎えることが出来ました。創立以来、クラブ所在地域の名古屋市中区・港区を中心に奉仕活動と会員の増強に努めて参りました。しかし最近では所在地域の会員の割合が全体の3分の1程度まで減少してきたため、現状に合った新名称・所在地域を望む声が会員の中から年々高まってきました。また、旧名称は分かりづらい、覚えづらい、イメージづらいなど会員は自分のクラブの説明に苦慮することもあり、使い勝手の点で指摘を受けたことも少なからずありました。

そのような中、2008-09年度に私たちのクラブへのCLP導入を決定したことを受け、この際名称・所在地域も一緒に改めてはどうか、という機運が会員の間で一気に高まり、大方の賛同を得て申請に至りました。新名称は会員より募集した20以上の候補名を参考にして、基本条件を満たし、ロータリークラブとしての品格を備え、今後久しく会員の心の拠りどころとなりうるものを求め、最終決定をみました。

承認いただいた新名称のもとで、会員一同、ロータリーの奉仕活動に一層励み、また仲間も増やそうと、決意を新たに取り組む所存です。どうか今後とも第2760地区の会員の皆様の御指導をよろしくお願い申し上げます。

地区史編纂についてのお願いお知らせ

国際ロータリー第2760地区ガバナー

地区史編纂委員長 江 崎 柳 節

前号でもご紹介いたしました、来年度10月を目標にRI2760地区の地区史編纂をすすめています。既にガバナー輩出クラブ、各クラブあてに原稿依頼がとどいていることと思います。お手数をおかけいたしますがご協力をお願い申し上げます。

さて、この10年間、社会は大きく様変わりしました。その10年間のまとめとなる地区史を編纂することは、とても重要なことだと思っています。特に「ロータリー100年」、そして当地区においては最大のイベントとなった「愛知万博」は是非ともしっかりと記録としてとどめておかなければなりません。しかしこのような大きなイベントばかりではありません。各委員会の活動もこの10年間で大きく進化してまいりました。

今回の地区史ではこれまであまり取り上げられなかった、これら委員会の活動にもスポットを当てたいと思っています。すでに各委員長には原稿を依頼していますが、健筆をふるわれることを期待いたします。

最近のロータリーの反省点として、広報の努力不足があげられています。そのためにもいまロータリアンがすすめている努力を世間に開示して、市民の皆様方から「ロータリーの公共イメージ」を少しでも理解していただけるようにしなければなりません。地区史がその一端を担い、ロータリアンが相互理解を図り、一人ひとりが「広報(公共イメージ)の高揚」を目標として捉えていければ幸いです。

今後編纂を進めていく上で、いろいろと皆様方にご協力をお願いすることも多々あろうかと思っています。その節はあらためて宜しくお願い申し上げます。

タイトル	『進化するロータリー RI第2760地区史』
発行日	2008年10月予定
頒 価	2,000円(税込み)
発行部数	6,000部

2008年6月地区主要行事

<諸会議>

- ◆6月7日(土) 17:00~17:50 第6回地区諮問委員会 名鉄グランドホテル
- ◆6月7日(土) 18:00~20:30 地区役員及び会長幹事懇親会 名鉄グランドホテル
- ◆6月15日(日)~18日(水) R I 国際大会 アメリカ・ロサンゼルス

<地区委員会>

- ◆6月3日(火) 13:00~14:00 ロータリー世界平和フェロースHIP委員会 ガバナー事務所分室
- ◆6月4日(水) 14:30~16:00 R, I, D, 2760合同地区大会委員会 ウェスティンナゴヤキャッスル
- ◆6月10日(火) 14:00~16:30 第4回地区史編纂委員会 ガバナー事務所分室
- ◆6月13日(金) 18:00~20:30 第3回地区職業奉仕委員会 札幌かに本家
- ◆6月18日(水) 16:00~17:00 第4回拡大委員会 ガバナー事務所分室
- ◆6月19日(木) 17:00~18:30 第4回環境保全委員会 クレストンホテル
- ◆6月20日(金) 16:00~18:00 第18回G S E委員会 ガバナー事務所分室
- ◆6月24日(火) 18:00~20:00 新旧地区国際奉仕関連委員会 しら河
- ◆6月27日(金) 18:00~ 第4回財団奨学委員会 八勝館

<委員会主要行事>

- ◆5月31日(土)~6月1日(日) 第21回I A C海外派遣研修 第1回事前研修会 ウィル愛知
- ◆6月6日(金) 18:00~20:00 G S Eフランス派遣メンバー帰国報告会 名古屋東急ホテル

<式典及び記念行事>

- ◆6月1日(日) 津島R C創立55周年記念式典・祝賀会 キャッスルプラザ

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ハイライトよねやま号★

2008年5月14日発行

●今月のトピックス

1. 寄付金速報 一再び前年同期比より増加一
2. 米山奨学生の博士号取得状況
3. 日本の民間助成財団で今年も第1位に!
4. ラオスの子どもたちの読書推進活動に貢献
一チャントソン・インタヴォンさん一
5. ミャンマーのサイクロン、四川省の大地震へのお見舞い

詳細は、米山記念奨学会ホームページ

【<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>】をご覧ください。



友

インターネット速報

2008年5月20日

No. 334

❖ ロータークラブ、ミャンマーへシェルターボックス支援

5月3日にミャンマーのデルタ地帯を直撃した大型サイクロンの被害により人道的状況がさらに悪化する中、8日、救援活動の経験豊富な4人のボランティアが、800個以上のシェルターボックスを配るために被災地入りしました。

世界中のロータリークラブが支援する草の根の災害救援団体・シェルターボックスは、サイクロンの被災者たちに真っ先に手を差し伸べた慈善団体の一つです。ミャンマーでは一刻を争う援助が必要とされているにもかかわらず、多くの国際団体が軍事政権により入国許可の足止めを食わされるという状態が続いています。国連の報告によると、このサイクロンで100余万人がホームレスとなり、10万人が死亡したと推定されています。

各ボックスには、テント、コンロ、浄水キット、道具、などの必需品が取められており、家族10人が半年間生活できるようになっています。

ロータリークラブの存在しないミャンマーにおいては、ロータリアンが救活動に直接かかわることのできる範囲は限られています。しかし、アメリカのシェルターボックス事務所によると、オンラインでの寄付の数が急激に上昇している上、ロータリアンからの寄付の申し出で電話が鳴りっぱなしとのこと。オーストラリア、カナダ、ドイツの事務所でも、同じく寄付の件数が増えていると報告されています。2000年にイギリス・ヘルストン・リザードクラブのプロジェクトとして始められたシェルターボックスは、短期間にして世界中のロータリークラブからの支援を集めるに至りました。現在まで、2,900万ドルを調達し、40か国余りの70件以上の災害に対し、救援活動を行ってきました。シェルターボックス1個につきかかる費用は1,000ドルで、資金の約半分はロータリークラブからの寄付によるものです。

発行:ロータリーの友事務所

ホームページ……<http://www.rotary.or.jp>編集については……hensyu@rotary-no-tomo.jp

文庫通信 (248号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

❖ 先輩ロータリー観 (3) ❖

- ◎ 「心の温かさ」こそロータリーの推進力」 松本兼二郎 1973 4p
- ◎ 「どうしてあなたはロータリアンになっているのか」 中山義之 1997 6p (横浜東RC週報)
- ◎ 「ロータリーよ、いずこへ？」 村田善明 1984 4p
- ◎ 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神とロータリーの理念」 濱川金兵衛 1986 4p
- ◎ 「ロータリーの精神を振るい起こすには」 前原勝樹 1974 4p
- ◎ 「職業奉仕のお話」 神守源一郎 1981 18p
- ◎ 「良き市民とは……>その心得十カ條」 伊藤次郎左衛門編輯 12p
- ◎ 「四つのテスト」 刈谷RC 1998 9p

【上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)】

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

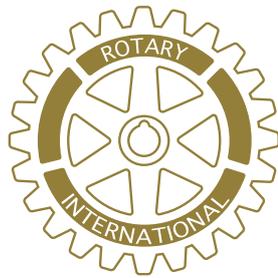
会員数及び出席報告 (平成20年4月)

クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月	入会	退会	例	4月		
	2007年 7月1日	7月1日 女性	2008年 4月末日	女性 4月	累計 4月	累計 4月			回数	出席率
半田	59	3	61	3	1	4	0	2	4	98.25%
常滑	51	0	51	0	1	3	2	3	4	94.54%
東海	60	2	62	2	0	3	0	1	4	99.14%
東知多	22	1	24	1	1	4	1	2	4	78.58%
半田南	46	1	47	1	1	2	0	1	4	99.45%
知多	23	0	24	0	0	1	0	0	3	95.83%
大府	22	1	24	1	0	2	0	0	4	84.75%
7RC	283	8	293	8	4	19	3	9		92.93%
一宮	80	0	81	0	0	4	0	3	4	98.19%
津島	76	3	74	3	0	0	1	2	4	93.15%
尾西	28	1	27	1	0	1	1	2	4	96.43%
一宮北	51	0	47	0	0	0	0	4	4	92.75%
稲沢	56	0	55	0	0	0	0	1	4	92.75%
あま	89	0	90	0	0	3	0	2	3	97.15%
名古屋清須	39	1	38	1	0	1	0	2	4	87.52%
尾張中央	46	0	42	0	0	1	0	5	4	94.10%
一宮中央	52	5	53	5	0	2	0	1	4	93.63%
9RC	517	10	507	10	0	12	2	22		93.96%
瀬戸	80	3	80	3	1	2	0	2	3	100.00%
犬山	79	0	78	0	0	3	1	4	4	100.00%
江南	54	1	54	1	0	2	0	2	4	90.11%
小牧	38	3	39	2	0	2	1	1	4	96.81%
春日井	62	2	63	3	2	4	1	3	4	97.61%
尾張旭	30	0	30	0	0	2	0	2	4	99.17%
名古屋空港	57	3	57	3	0	1	0	1	4	97.55%
瀬戸北	70	5	74	6	0	6	0	2	4	100.00%
岩倉	19	1	19	1	0	0	0	0	4	96.05%
名古屋城北	21	2	22	3	0	1	0	0	4	84.10%
愛知長久手	26	3	23	3	0	0	0	3	4	92.39%
11RC	536	23	539	25	3	23	3	20		95.80%
名古屋	182	0	187	0	0	14	1	9	4	87.92%
名古屋西	96	0	103	0	3	14	0	7	4	91.92%
名古屋南	118	0	123	0	2	6	1	1	4	90.11%
名古屋みなと	76	0	76	2	0	4	0	4	4	92.00%
名古屋東南	67	5	86	8	0	21	0	2	4	91.86%
名古屋中	138	0	138	0	0	8	0	8	3	97.77%
名古屋瑞穂	72	0	71	0	0	1	1	2	4	97.05%
名古屋大須	68	3	69	3	0	2	0	1	4	91.05%
名古屋栄	68	0	70	0	0	6	1	4	3	94.00%
名古屋名南	74	13	73	13	0	1	0	2	4	92.03%
名古屋名駅	93	3	93	3	0	7	1	7	4	95.36%
名古屋西南	46	6	47	5	0	4	0	3	4	96.56%
12RC	1,098	30	1,136	34	5	88	5	50		93.14%

	クラブ	平均
平均出席率	81	94.49%

クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月	入会	退会	例	4月		
	2007年 7月1日	7月1日 女性	2008年 4月末日	女性 4月	累計 4月	累計 4月			回数	出席率
名古屋北	96	0	94	0	0	4	0	6	4	94.75%
名古屋東	82	0	91	0	0	9	0	0	3	93.02%
名古屋守山	62	7	62	7	2	3	1	3	4	90.67%
名古屋和合	98	0	95	0	0	3	1	6	4	79.48%
名古屋名東	59	7	59	7	0	4	0	4	4	100.00%
名古屋名北	48	7	48	7	0	0	0	0	4	95.53%
名古屋千種	58	6	60	6	0	5	0	3	4	91.04%
名古屋昭和	55	0	55	0	0	4	1	4	3	94.98%
名古屋錦	33	6	35	6	0	2	0	0	4	82.37%
名古屋東山	48	2	50	2	0	2	0	0	4	94.68%
名古屋葵	24	0	27	0	0	3	0	0	4	94.23%
11RC	663	35	676	35	2	39	3	26		91.89%
豊橋	119	4	119	4	0	2	0	2	4	90.78%
蒲郡	57	0	55	0	0	2	1	4	4	91.45%
豊橋北	90	2	88	2	0	4	3	6	4	96.61%
豊川	66	0	68	0	0	4	0	2	4	93.19%
田原	54	1	53	1	0	3	2	4	4	92.09%
豊橋南	63	0	62	0	1	2	0	3	3	95.18%
新城	50	0	51	0	1	4	1	3	4	85.76%
渥美	36	0	36	0	0	1	0	1	5	90.30%
奥三河	18	3	19	3	0	2	0	1	4	92.00%
豊川宝飯	57	2	55	2	0	2	0	4	3	95.60%
豊橋ゴールデン	59	0	59	0	0	3	1	3	4	97.72%
田原パシフィック	63	0	66	1	0	5	0	2	4	98.39%
豊橋東	45	0	40	0	0	1	0	6	4	97.48%
13RC	777	12	771	13	2	35	8	41		93.58%
岡崎	92	1	95	1	0	7	0	4	4	100.00%
豊田	77	0	83	0	0	11	0	5	4	100.00%
岡崎南	94	2	95	2	0	3	0	2	4	98.00%
豊田西	99	0	101	0	0	5	1	3	3	98.57%
岡崎東	62	0	63	0	1	3	0	2	4	94.50%
豊田東	78	0	80	0	4	8	0	6	4	98.26%
岡崎城南	75	0	76	0	1	2	0	1	4	98.00%
豊田三好	22	2	21	2	0	0	0	1	4	88.75%
豊田中	49	5	51	5	0	3	0	1	4	96.00%
9RC	648	10	665	10	6	42	1	25		96.90%
刈谷	92	4	93	4	0	7	2	6	3	100.00%
安城	60	1	59	1	0	1	1	2	4	97.96%
西尾	71	1	75	1	0	5	1	1	4	96.56%
碧南	79	0	78	0	0	4	2	5	4	94.25%
一色	29	0	29	0	1	1	0	1	4	98.08%
高浜	39	2	41	2	0	2	0	0	4	100.00%
知立	65	0	64	0	0	2	1	3	4	100.00%
西尾KIRARA	58	0	59	0	0	2	0	1	4	100.00%
三河安城	56	6	56	6	0	1	1	1	4	92.98%
9RC	549	14	554	14	1	25	8	20		97.76%

地区内クラブ数	81RC	2007年7月1日会員数	5,071名	内女性142	増加会員数(累計)	283名
		当月会員数	5,141名	内女性149	減少会員数(累計)	213名
		当月平均出席率	94.49%		差引純増会員数(累計)	70名



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760



表紙に寄せて

ローマのピエタ 撮影 江崎 柳節

ローマを訪れるのはこれに逢いたくなるからだと云う人がいる。バチカン(サン・ピエトロ大聖堂)の中程右側に、目立たないが凄く大理石の彫刻がある。昔は露出してあったがその後、爆薬を仕掛けた狂信者がでて今では防弾ガラスの中にある。

ミケランジェロがフィレンツェから呼ばれて作ったローマにおける初作品と言われる。聖母が余りにも若い事に議論が集まった。いわれではミケランジェロが熱愛したオコナ夫人の姿だという。

ともかく、キリストの磔刑後の、母に甘えた安堵の姿が信仰者の心痛を和らげるのであろうか。いつまでも立ち去りがたい巨大な彫刻である。(柳節)

ガバナー事務所

〒485-0041 小牧市小牧五丁目253
小牧商工会議所会館5F
TEL0568-74-6111 FAX0568-74-6112
HP : <http://www.rotary2760.org>
E-mail : governor07-08@rotary2760.org